



# 指ぬきの夏

岩波少年文庫

エンライト作 谷口由美子訳 岩波書店

暑い暑い夏のある日、農場の九歳の女の子がガーネットは、兄さんと川へ行きました。水は生ぬるく、この何週間かの日照りで川底の砂地があらわれています。ガーネットはそこで、きらきら光るものを見つけました。

「ほんものの銀の指ぬきよ！これって、ぜったい魔法の指ぬきよ！」

その晩、突然雨がいきおいよく降り出しました。日照りが終わったので、それはこの夏におこる、数々のすばらしい冒険のはじまりだったのです。

